

幼保一元化の取組み

「小野わかば幼稚園」と「中央さくら保育園」の一元化をめざして、平成17年4月1日から福島県の指定を受けて幼保連携パイオニア事業における委託研究事業をしています。

この事業は、幼児期における教育は生涯にわたる人間形成の基礎となる大切なもので、幼稚園教育を保育園児にも等しく取り入れ、幼保一元化を進めるために行っています。

具体的には、幼稚園と保育園の施設・設備等を共用化しながら、幼稚園児と保育園児の合同保育が可能になるのか、教育・保育カリキュラムをどうするのか、日課や給食等等合同保育を実践しながら研究しています。



同じ小野町の幼児でありながら所管の異なる省庁と異なる法律により、幼保一元化が進まない状況でしたが、研究を重ねる中で幼保一元化の可能性が深まってきました。これからは様々な基準やルールを満たしていかなければなりません、未来を担う子どもたちのために幼保一元化を推進し、いずれは地域子育て支援センターを含めた総合施設をめざしています。

幼保一元化の中で試行している小野わかば幼稚園と中央さくら保育園の5歳児の「合同保育」は、今年の4月から回数を増やすとともに、4歳児間の合同保育も行う予定です。

「食育講演会」開催

2月4日、中央さくら保育園において、保護者研修会の一環として、「幼児期における子育てと食育」と題した講演会を開催しました。これは、小野町が平成16年度から3年間取り組んでいる食を通じた子どもの健康づくり事業のひとつとして実施したもので、保育園の保護者約80人が参加しました。

講師の新白河中央病院口腔外科長北原朋広医師より、歯科医からみた「かむ力」、「食べる力」、「生きる力」を育てる食育について話がありました。

聴講した保護者からは、日頃忙しく子どもと接する時間が少ない中「親子で粉をこねてうどん作りやプランターで野菜を栽培してみよう」との声が上がっていました。



電話お願い手帳・ふれあい速達便

このたびNTT東日本福島より、「電話お願い手帳・ふれあい速達便」の贈呈がありました。

「電話お願い手帳」は、聴覚や音声に障がいのある方が、電話での連絡を行う際に大変便利なものです。障がいのない方もご利用ください。



「ふれあい速達便」は、家庭でファクシミリを利用する際に利用します。

両方とも役場窓口にありますので、ご自由にお持ち帰りください。

東北電力郡山営業所が防犯灯を寄贈

2月10日、東北電力株式会社郡山営業所（笹川稔郎所長）より防犯灯20基が町に寄贈され、目録が町長に手渡されました。

寄贈された防犯灯は、安全・安心の町づくりのため、整備が必要な場所へ取り付けられる予定です。

